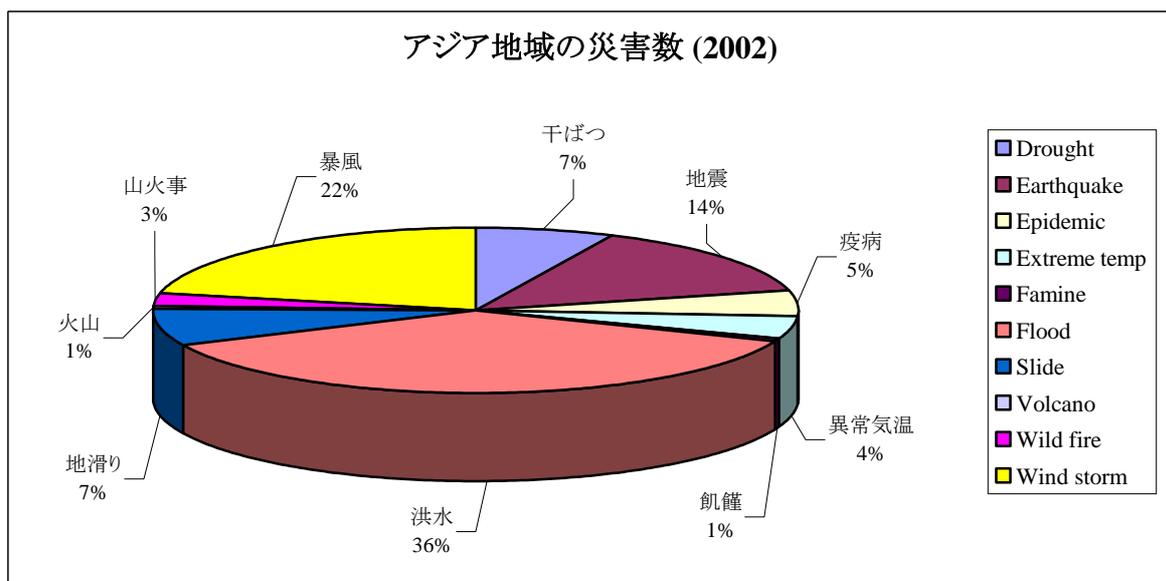


3.2.3 アジア地域の特徴

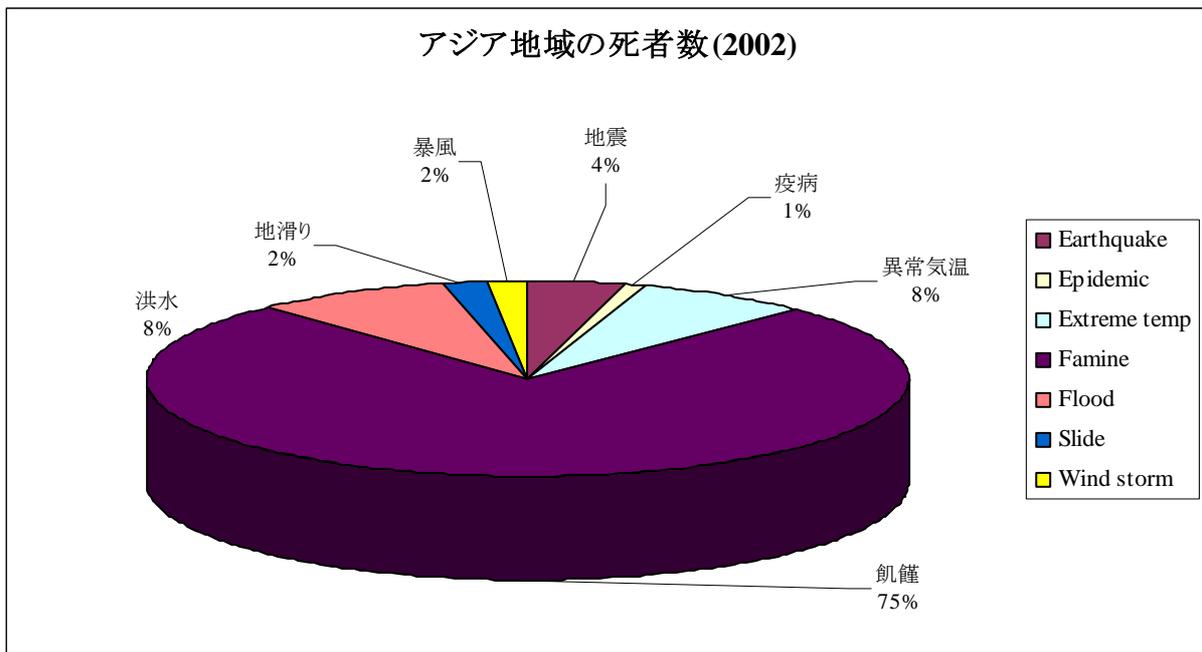
前のセクションでもみたように、アジアは自然災害に対して脆弱な地域である。このような傾向はここでも見ることができる。図 27 によると、暴風と洪水が他の災害に比べて多く発生し、全体の 58% を占め、地震が 14% と続いている。しかし死者数で見ると、飢饉が大きな人的損失を引き起こしたことがわかり、その他の災害による影響はとるに足りないものとなっている（図 28）。これは 2002 年の北朝鮮での飢饉が原因であった。この図 29 から明らかのように、干ばつ、洪水、暴風がアジア地域において深刻な人的被害をもたらしており、この 3 つの災害が被災者数のほとんどを占めている。経済的損失を見ても、99% 近くが上記の挙げた災害によるものであった。このようにアジア地域は、災害の影響を受けやすい地域というだけでなく、気象災害に対して脆弱な地域であることが明らかとなった。下記の図がこのような傾向を示している。

図 27



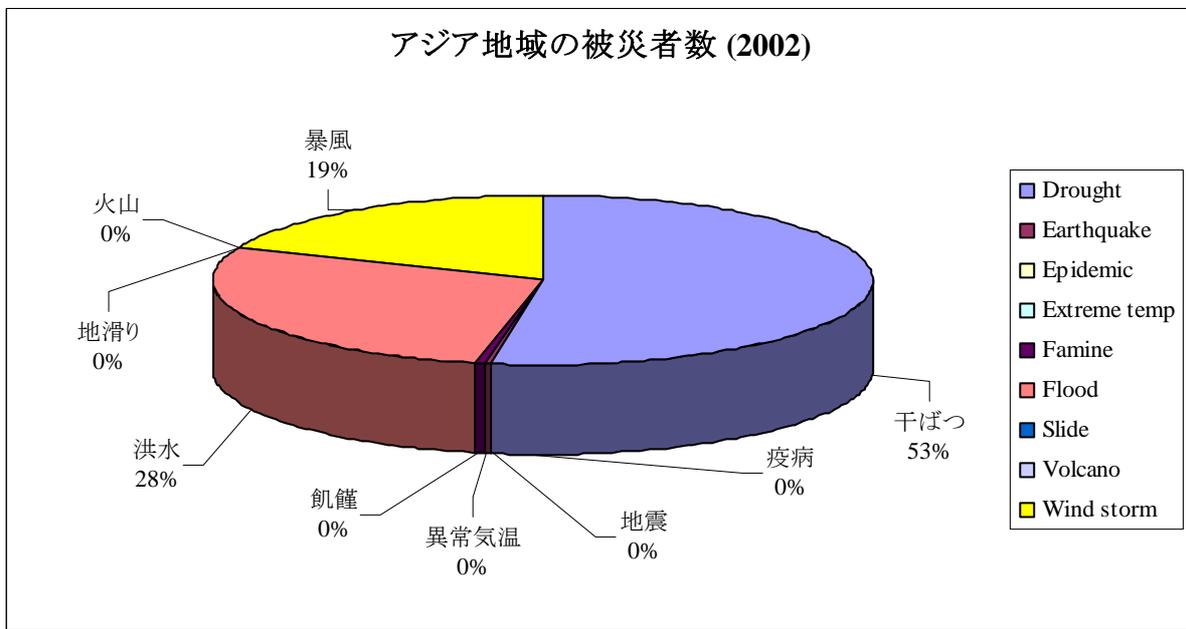
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 28



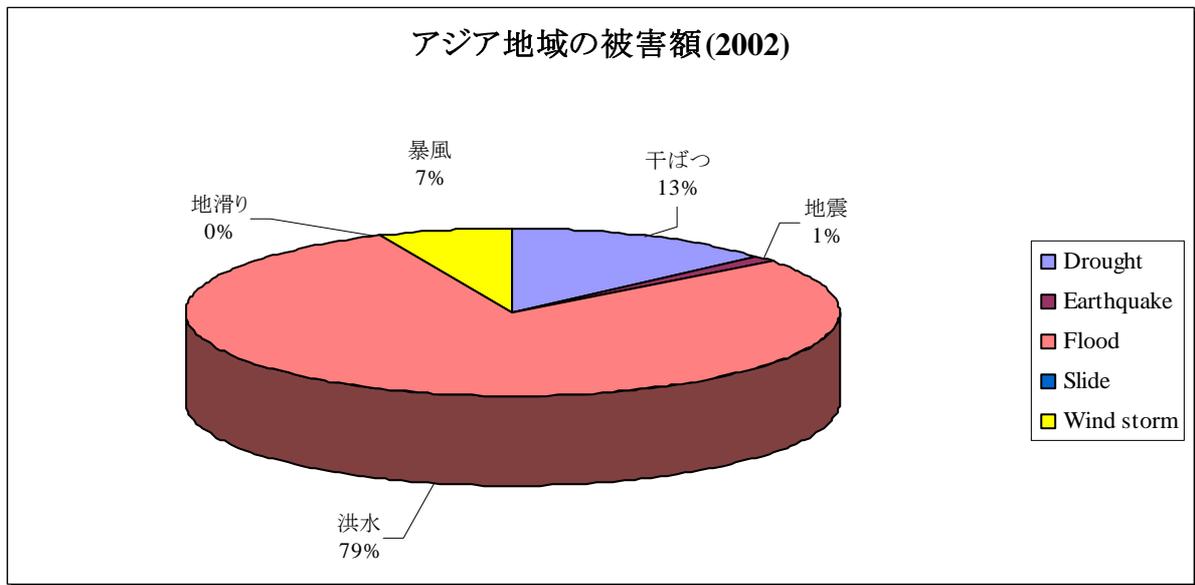
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 29



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 30



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）